

釧路労災看護専門学校 授業計画(シラバス)

科目名		精神看護学概論			
教育内容	専門分野 精神看護学	履修年次	1年次	履修時期	後期
単位(時間数)	1単位(30時間)	講義時間	28時間	試験時間	2時間
担当教員	専任教員	実務経験	精神看護領域臨床実務経験あり		
科目目的	精神の発達と健康について学び、精神に影響する因子と精神看護の意義・対象を理解する。				
学習目標	1. 人間の心の発達および心の健康に関連する要因がわかる。 2. 精神看護の対象・役割がわかる。 3. 精神の危機的状況にある人や精神を障害された個人とその家族を理解する。				
授業計画	回	授業内容			授業方法
	1	精神保健で扱われる現象 精神的健康の保持・増進としての精神保健			講義
	2	脳の構造と認知機能 精神(心)の構造とはたらき			講義
	3	心の発達			講義
	4	日常の中で見聞きする精神障害と精神保健上の問題			協同学習
	5	日常の中で見聞きする精神障害と精神保健上の問題			協同学習
	6	精神(心)の危機状況と精神保健 精神症状論と状態像			講義
	7	精神症状論と状態像			講義・DVD視聴
	8	精神症状論と状態像			講義・DVD視聴
	9	精神医療看護の歴史的変遷			講義
	10	精神看護学と今後の課題 精神科看護と法律 日本の精神保健医療の現状と改革ビジョン			講義・DVD視聴
	11	現代社会と精神保健			講義・DVD視聴
	12	日常の中で見聞きする精神障害と精神保健上の問題			協同学習(発表)
	13	日常の中で見聞きする精神障害と精神保健上の問題			協同学習(発表)
	14	自殺対策 精神看護 リエゾン精神看護			講義・DVD視聴
	15	筆記試験			

釧路労災看護専門学校 授業計画(シラバス)

<p>使用教材</p>	<p>1. 新体系看護学全書 精神看護学① 精神看護学概論 精神保健 メヂカルフレンド社 2. 新体系看護学全書 精神看護学② 精神障害をもつ人の看護 メヂカルフレンド社</p>
<p>参考文献</p>	<p>1. 精神看護学 精神保健 第3版 医歯薬出版 2. 精神疾患・高齢者の精神障害の理解と看護 医学芸術者 3. 学生のための精神看護学</p>
<p>成績評価の方法</p>	<p>筆記試験90点 協同学習(個人発表)10点</p>
<p>科目の発展性、 勤労者医療との関連</p>	<p>精神看護学では、人々の心の健康に目を向けます。現代の社会と心身の健康の関連を学び、精神看護の展開される場や状況を広くとらえて、その特徴およびそこで展開される精神看護の役割を学習します。精神を障害された個人やその家族の看護は、人間関係を基盤とした日常生活を整える援助が中心です。これは精神科だけの看護ではなく、どの看護場面でも共通することです。関連性が強い専門分野の科目は看護学概論と成人看護学です。危機理論や発達課題、適応理論など多くの関連がありますが、精神看護の視点から学んでいきたいと思えます。その他には心理学、人間関係論なども関連があります。</p> <p>&lt;勤労者医療との関連&gt; 勤労者医療との関連も深い科目であり、勤労者およびその家族を支えるメンタルヘルスケアの基礎にもなります。本科目の学習を通して、こころの仕組みや構造、心の健康について学習を深めていきましょう。</p>

釧路労災看護専門学校 授業計画(シラバス)

科目名	精神看護学援助論 I (精神疾患)				
教育内容	専門分野 精神看護学	履修年次	2年次	履修時期	前期
単位(時間数)	1単位(15時間)	講義時間	14時間	試験時間	1時間
担当教員	医師	実務経験	精神科医師		
科目目的	精神障害の病像の基礎を学び、診察・検査や各治療方法の意義や方法について理解する。				
学習目標	精神科における病態・診察・検査・症状や各治療方法の意義や方法について理解する。				
授業計画	回	授業内容			授業方法
	1	代表的疾患(1)統合失調症			講義
	2	代表的疾患(2)気分障害			講義
	3	代表的疾患(3) ※脳器質性精神障害～認知症を中心に			講義
	4	代表的疾患(4) ※人格障害			講義
	5	代表的疾患(5) ※摂食・性・知的機能の障害 ※小児・児童期精神医学			講義
	6	治療の実際 ※統合失調症 ※躁うつ病の治療			講義
	7	精神療法 ※その他の治療法 ※精神症状と状態像の把握:コミュニケーション のコツと要点			講義
	8	試験			
使用教材	新体系看護学全書 精神看護② 精神障害をもつ人の看護 メヂカルフレンド社				
参考文献	講義内で紹介				
成績評価の方法	筆記試験				

釧路労災看護専門学校 授業計画(シラバス)

科目名	<b>精神看護学援助論Ⅱ(精神看護)</b>				
教育内容	専門分野 精神看護学	履修年次	2年次	履修時期	前期
単位(時間数)	1単位(30時間)	講義時間	28時間	試験時間	2時間
担当教員	専任教員 看護師	実務経験	精神看護領域臨床実務経験あり		
科目目的	精神の危機的状況にある人々および、精神を障害された人々とその家族に対する看護に必要な基本技術を理解する。				
学習目標	1. 精神疾患における症状の特徴を理解し、看護の実際を学ぶことができる。 2. 精神科における主な検査・治療とその看護について学ぶことができる。 3. 対人関係理論とプロセスレコードについて学習を深め、今後の看護に活かすことができる。 4. 精神看護学実習における看護過程のポイントを理解する。				
授業計画	回	授業内容			授業方法
		<b>単元:精神看護 担当:看護師</b>			
	1	精神障害をもつ人との関わり方			講義
	2	精神障害をもつ人とのコミュニケーション			講義
	3	精神科病棟という治療的環境と患者の生活			講義
	4	事例で学ぶ:精神疾患/障害をもつ患者への看護			講義
	5	事例で学ぶ:精神疾患/障害をもつ患者への看護			講義
	6	事例で学ぶ:身体疾患を合併している患者への看護			講義
	7	事例で学ぶ:身体疾患を合併している患者への看護			講義
		<b>単元:看護過程 担当:専任教員</b>			
	8	ヒルデガード・ペプロウの理論 アイダ・ジーン・オーランドの理論			講義
	9	アーネスティンウィーデンバックの理論 プロセスレコード			講義
	10	ジョイス・トラベルビーの理論 ドロセア・E・オレムの理論 オレム-アンダーウッド看護論			講義・DVD視聴
	11	精神看護学実習の看護過程 記録用紙の説明			講義
	12	精神看護学実習の看護過程 事例を用いた看護過程の展開			個人ワーク
	13	精神看護学実習の看護過程 事例を用いた看護過程の展開			個人ワーク
14	看護過程発表と意見交換			グループワーク・解説	
15	筆記試験				
使用教材	新体系看護学全書 精神看護学② 精神障害をもつ人への看護 メヂカルフレンド社				
参考文献	精神科看護ガイドライン・精神障害をもつ人の看護				
成績評価の方法	筆記試験90点、課題の取り組み10点				

釧路労災看護専門学校 授業計画(シラバス)

	回	授業内容	授業方法	
授業計画		<b>単元:精神看護 担当:看護師</b>		
	1	精神障害をもつ人との関わり方	講義	
	2	精神障害をもつ人とのコミュニケーション	講義	
	3	精神科病棟という治療的環境と患者の生活	講義	
	4	事例で学ぶ:精神疾患/障害をもつ患者への看護	講義	
	5	事例で学ぶ:精神疾患/障害をもつ患者への看護	講義	
	6	事例で学ぶ:身体疾患を合併している患者への看護	講義	
	7	事例で学ぶ:身体疾患を合併している患者への看護	講義	
			<b>単元:看護過程 担当:専任教員</b>	
	8	ヒルデガード・ペプロウの理論 アイダ・ジーン・オーランドの理論	講義	
	9	アーネスティンウィーデンバックの理論 プロセスレコード	講義	
	10	ジョイス・トラベルビーの理論 ドロセア・E・オレムの理論 オレム-アンダーウッド看護論	講義・DVD視聴	
	11	精神看護学実習の看護過程 記録用紙の説明	講義	
	12	精神看護学実習の看護過程 事例を用いた看護過程の展開	個人ワーク	
	13	精神看護学実習の看護過程 事例を用いた看護過程の展開	個人ワーク	
14	看護過程発表と意見交換	グループワーク・解説		
15	筆記試験			
科目の発展性、 勤労者医療との関連		<p>精神看護は看護過程に基づく生活の援助が中心となりますが、対象との関係を発展させられるかどうかは援助の鍵となります。そのためには対象を理解し、共感的な対応を通して関係を構築していくことが重要です。人間関係技術は、精神看護にとどまらずあらゆる看護実践の基本となり、精神看護では対象の対人関係に影響する障害を改善させるといった治療的意味も含まれています。本単元で主に学習することは、対人関係的な看護理論の学習とセルフケアに注目した看護過程の展開についてです。これらの学習は、あらゆる看護実践の場において基本となる内容が含まれます。この講義を通して、人間関係の看護理論・技術を深め今一度自分の看護や患者と向き合う姿勢についても考えて欲しいと思います。</p> <p>&lt;勤労者医療との関連&gt;</p> <p>仕事による強いストレスが原因で精神障害を発症するケースが多くあります。精神障害をもつ勤労者の回復過程に応じた看護を学び、社会復帰ができるような援助を考えていきましょう。</p>		

科目名		精神看護学援助論Ⅲ(精神保健医療)			
教育内容	専門分野 精神看護学	履修年次	3年次	履修時期	前期
単位(時間数)	1単位(15時間)	講義時間	14時間	試験時間	1時間
担当教員	専任教員・精神保健福祉士 就労継続支援B型副施設長	実務経験	精神領域臨床看護実務経験あり		
科目目的	精神の健康保持・増進にむけた保健医療福祉を理解する。				
学習目標	1. 精神保健医療の法制度を理解する。 2. 地域で生活する精神障害者を支える仕組みを理解する。				
授業計画	回	授業内容			授業方法
	1	<b>担当:専任教員</b> 精神医療と法制度 1. 精神保健福祉法における精神障害者の定義 2. 医療と権利擁護 ①開放病棟と閉鎖病棟 ②入院形態と権利擁護、③行動制限と権利擁護 精神医療審査会			講義
	2	病院から地域へ 1. 当事者が知っておいた方がよいこと 2. 援助者が心得ておくこと 3. 精神保健福祉士・精神保健福祉相談員 4. 精神障害と法制度			講義・DVD視聴
	3	地域で生活する精神障害者を支える仕組み① 1. 医療(デイケア、精神科訪問看護)・福祉 2. 地域で精神保健福祉活動を促進する機関 3. 障害者総合支援法			講義
	4	地域で生活する精神障害者を支える仕組み② 4. 生活支援 5. 交流 6. 働くこと			講義・DVD視聴
	5	<b>担当:就労継続支援B型副施設長</b> 地域で生活する精神障害者を支える仕組み③ 就労継続支援(実際の取り組み、当事者の体験談)			講義
	6	<b>担当:精神保健福祉士</b> 精神科リハビリテーション 地域精神保健福祉の概要とリハビリテーションの基本学習			講義
	7	SSTの基本体感、GWの基本体感 当事者のメッセージ 地域生活支援センターの実際の取り組み			講義・演習
8	筆記試験				
使用教材	1. 新体系看護学全書 精神看護学① 精神看護学概論 精神保健 メヂカルフレンド社 2. 新体系看護学全書 精神看護学② 精神障害をもつ人の看護 メヂカルフレンド社 3. 精神看護学—学生患者のストーリーで綴る実習展開 医歯薬出版 4. 看護実践のための根拠がわかる精神看護技術 第3版 メヂカルフレンド社				
参考文献	1. 精神看護学 オーム社 2. 新版精神保健 医学出版社				
成績評価の方法	筆記試験				
科目の発展性、勤労者医療との関連	現在、精神障害をもつ人の生活の場は医療から地域へと流れが変わってきており、医療・福祉・地域の連携がますます重要になってきています。本単元では、精神障害をもつ人に関係する医療・福祉・現状を理解し課題についても考えて行きたいと思えます。 この単元では、精神障害をもつ人は、様々な偏見の中で多くの辛さを感じながら生活しています。権利擁護のための決まりや制度を理解し、一人の人格を持った人として人権が擁護され、地域で安心して生活できるための制度や支援を学び、その課題についても考えていきます。 <勤労者医療との関連> 勤労者でもある精神障害をもつ人の医療・社会復帰、自立に向けた支援、就労に向けた支援				